

浦添市福祉関連総合拠点地区形成に関する基本構想（素案）に対するパブリックコメント【ご意見の概要と市の考え方】

令和8年3月30日

意見募集期間：令和7年12月24日～令和8年1月23日

	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>市中央公民館、老人センターを福祉関連総合拠点施設として建て替える計画があるが、①現在の場所または②隣接する市民駐車場③浦添ニュータウン1班と接するカルチャーパーク敷地（緑地帯）に建築を要望する声が浦添ニュータウン若草会（老人会）の先輩方から上がっている。免許返納した高齢者にとって候補先の浦添南第二土地区画整理事業地区内の市有地となると交通手段も乏しく移動が不便だとの理由である。また、有識者からは、都市計画マスタープランに基づいて、市役所、カルチャーパーク、運動公園、図書館などと一体的・有機的な連動したまちづくりが望ましい。と私案も作成しておられる。そのような声、ご意見を踏まえて市民の理解と納得を得るよう、丁寧に取りこぼしのないよう収集に取り組んで頂きたい。その上で十分な説明がなされなければ、後々、不満が事業に支障をきたして利用者の評価を損ねてしまう恐れが生じる。今回のパブリックコメントによる意見収集の方法は、市ホームページを介してのものであるため利用者の中心である高齢者の目に留まりにくい。直接、自治会長や老人会長の協力を得て、最適な方法を検討し、意見収集に努めることを求める。</p>	<p>この基本構想の策定にあたり、施設利用者のニーズを把握するため、中央公民館、老人福祉センター、サン・アビリティーズうらそえの利用団体等を対象として、アンケート調査を実施いたしました。アンケート結果をみると、同じ場所での建て替えを希望する回答が最も多くありましたが、その一方で、利用者の来館手段は自家用車が最も多く、駐車場の不足に対する不満と駐車場の整備を希望する回答も多くございました。</p> <p>基本構想における予定地の選定は、このアンケート結果、立地特性や敷地特性、交通利便性や将来性などを比較検討し、総合的に評価した上で、浦添南第二土地区画整理事業52街区に選定いたしました。予定地には、現在、近くにバス停がないため、車を利用できない方のアクセス性の確保が課題であると認識しておりますので、アクセス性の確保について、今後、検討してまいりたいと考えます。</p> <p>今後、令和8年度に基本計画を策定する予定ですので、広く市民の意見を反映させるためにも、市民説明会の開催を検討するなど、意見収集の方法について、お寄せいただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
2	<p>高齢者の生きがいづくりと健康づくりを推進する為には老人クラブは地域の中でも必要だと考える。その老人クラブの活動を支えるためにも連合会として組織を運営する役割は重要である。(浦添市老人クラブ連合会の事務局は、福祉関連総合拠点施設に入居したい。)</p> <p>免許返納後でも、高齢者が外に出る活動をしやすい環境を整えてほしい ①バス停が近い事 ②役所への用事にも同時に利用できる(建替え場所は、現在と同じ場所がよい。)</p>	<p>今後、令和8年度に基本計画を策定する予定ですので、どのような諸室が必要かについて、お寄せいただいたご意見を参考にさせていただきたいと考えます。</p> <p>基本構想における予定地の選定は、施設利用団体等へのアンケート結果を踏まえ、立地特性や敷地特性、交通利便性や将来性などを比較検討し、総合的に評価した上で、浦添南第二土地区画整理事業52街区に選定いたしました。予定地には、現在、近くにバス停がないため、車を利用できない方のアクセス性の確保が課題であると認識しておりますので、アクセス性の確保について、今後、検討してまいりたいと考えます。</p>
3	<p>浦添市ろう者協会は、平成30年4月15日設立しました。今年で8年目。課題が多くありますが、事務所は、会長宅になっている状況です。事務的管理及び連絡、会議、在住者の方が問い合わせ、相談などを安心して訪れるような事務所がほしい。例えば、沖縄県総合福祉センターは、小規模団体室を整備されており、6～7くらいの団体が入居されていて水道・電気・ガスを入居団体で按分して支払い。月額約2,000円の支払い状況になっています。なは市民活動支援センターにもあります。入居施設を整備されていて支援ブース・事務室の2つがあり、事務室は、1室あたり約13平方メートル(2.7m×1.8m)の広さで月額12,000円。付属備品は、机1・イス・キャビネット2、固定電話配線をつけられています。本拠点施設建設には浦添市にもこのような施設設備を用意してほしいことをご意見と要望を致します。</p>	<p>今後、令和8年度に基本計画を策定する予定ですので、どのような諸室が必要かについて、お寄せいただいたご意見を参考にさせていただきたいと考えます。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
4	<p>浦添市の中央公民館が老朽化し、危険のため、来る3月31日で使用できないと知り、大変なことになったとショックを続けています。(浦添市老人福祉センター囲碁愛好会の) 会員は現在は34人です。健康長寿のためには、趣味を生かし、楽しみ、友をつくることが1つの条件です。どうか老人の趣味が生かされるように、活動場所にご協力をお願い致します。</p>	<p>福祉関連総合拠点施設には、老人福祉センターの機能として「教養娯楽室」の整備を予定しております。今後、令和8年度に基本計画を策定する予定ですので、利用者が囲碁や将棋などの趣味を楽しめるよう、お寄せいただいたご意見を参考にさせていただきたいと考えます。</p>
5	<p><b>【サン・アビリティーズの体育館利用の必要性】</b></p> <p>夏の暑い日の炎天下や冬の大寒時や悪天候・雨天時の散歩等では、体育館が重要な役割を果たします。特に障がい者は一般の体育館では活動するにはリスクもあり安心・安全にゆとりを持って運動できる空間が必要です。現在のサン・アビリティーズの規模は利用するにあたって少し小さいにも関わらず、安全・安心に利用できているので同じような規模を希望します。</p> <p><b>【障がい者リハビリにおけるプールの必要性】</b></p> <p>サン・アビリティーズのプールは一般的なプールより水深も浅く、階段を降りながらゆっくり安心・安全に入水できる。又、プール内側に添って手すりを取り付けられているため、安心して歩行訓練ができ支援・サポートする側も安心して介助ができます。</p> <p>心身のバランスの良い発達、日常生活におけるQOLの向上に繋がりその為にもサン・アビリティーズのプールの機能を維持した施設を願います。</p>	<p>福祉関連総合拠点施設には、サン・アビリティーズうらそえの機能として「体育館」の整備を予定しております。今後、令和8年度に基本計画を策定する予定ですので、利用者が安心・安全に活動できるよう、お寄せいただいたご意見を参考にさせていただきたいと考えます。</p> <p>福祉関連総合拠点施設には、サン・アビリティーズうらそえの機能として「プール」の整備を予定しております。今後、令和8年度に基本計画を策定する予定ですので、利用者が安心・安全に活動できるよう、お寄せいただいたご意見を参考にさせていただきたいと考えます。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
5	<p>【共生型生活介護事業所を浦添市が先駆的に運営するモデル事業として団地への設置について】</p> <p>現在、浦添市には（障がい）生活介護事業所が少なく、市外の事業所へ通所になる人が大半です。卒業後も福祉サービスを利用し、慣れた事業所を継続利用していますが、65歳を過ぎたら介護保険へのサービスに切り替える必要がある場合もあるようです。</p> <p>共生型福祉サービスを要望するねらいや目的は障がい児者と家族が地域において、安心・安全に生活できる支援ニーズの受け皿と成るためにも団地建替え時には当会が以前から市長へ提案・要望して、団地の1階スペースに共生型生活介護事業所を設置し、モデル事業として浦添市が先駆的に実施するよう切望します。</p>	<p>福祉関連総合拠点地区への市営住宅の整備については、今後、詳細な検討を行っていく予定です。現時点において、整備スケジュール等も含めて未定の状況ですが、お寄せいただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
6	<p>今回の、福祉関連総合拠点地区形成に関する基本構想に関して、基本的には賛成ですが、当法人が大きく関係性が出ると思われる、サンアビリティーズ浦添の活用に関しては、かなりの検討が必要だと考えております。まず、現在の指定管理のタームが終了し、次期のタームに関して、当法人として構想を持っておりました。それは、現在の施設を取り壊し、新規で施設を建設、整備していくものです。次期施設のイメージとして、横浜市にある『横浜市障がい者文化施設（横浜ラポール）』を考えており、数年にわたって、視察、当該施設のスタッフとの情報交換を進めております。あの規模ではなくても、浦添市、もしくは圏域での障がい者スポーツでの拠点として、人口規模に見合った施設を構想しておりますし、そこに宿泊施設を併設する案も構想しております。そういった意味で、現在のサンアビリティーズ浦添の施設・規模をそのまま移転するだけの構</p>	<p>福祉関連総合拠点施設には、サン・アビリティーズうらそえの現状の機能を集約することを想定して基本構想を策定しました。</p> <p>複合施設として整備するにあたり、敷地面積や建築面積の制約があることから、ご意見にある『横浜市障がい者文化施設（横浜ラポール）』のような施設を整備することは困難であるものと考えますが、今後、令和8年度に基本計画を策定する予定ですので、必要とされる機能や規模について、お寄せいただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>

	ご意見の概要	市の考え方
6	<p>想であるならば、そこの部分に関して、再検討をお願いしたいと考えております。</p> <p>その他の、中央公民館機能、老人福祉センター機能、市営住宅機能を集約して整備することも、今後、自走していける施設にしていくことで、浦添市の財政負担の減少や、地域に根差した施設として存在して行ける施設となるための基本的な構想としては賛成です。ただ、そのためには、どのような複合施設にして、どのように自立運営するための運営資金循環をしていくのかを同時に考えていくことも必要で、そのための検討なくして、基本構想は立てられるべきではないと考えています。</p> <p>当法人で運営している障がい者中心の総合型地域スポーツクラブは、地域の障がい者スポーツ発展に寄与すべく、日々発展を続けています。その部分を活かして頂くことも、この施設には要望したいと考えておりますので、今後とも浦添市のスポーツ・福祉の発展のために、協働させていただければと思っております。</p>	<p>また、基本計画において、事業費の概算や事業手法についての検討を行います。より詳細な事業手法の検討については、令和9年度以降に行っていく予定となっております。</p> <p>なお、基本計画の策定にあたっては、市民説明会の開催を検討するほか、パブリックコメントを募集する予定ですので、改めて、ご意見をお寄せいただければと考えております。</p>